

「まるごと A2-8課(1/2)」 教案

学 習 日	2019年2月20日(水)	授業時間 90分	担当: 金田	
参加者(学習者) 12人	学習項目 教科書 P68~72			
目 標 (この回のポイント・ねらい)				
F:ファシリテーター SF:サポーター(サブ・ファシリテーター) S:学習者 イベントの場所や時間について、質問し、理解できるようになる。 受付での会話を理解し、質問できるようになる。				
学 習 内 容 (キーワード・重要概念)				
1 場所や時間について聞く・答えを理解する。 2 現在のイベントの状況について質問し、理解する。				
時間	教具・教材	提示項目	活動	メモ
14:00 10	Can-do リスト	あいさつ 「辞書形」 Can-do 確認	自己紹介 ・趣味は～することです 中国語英語などの翻訳つきの Can-do リストを使う	
14:10 15		イメージをつかむ SにSFが説明する。	61. 68 ページ を見て話す  ・日本のまつりを見ましたか	
14:25 5	語彙 リスト	翻訳で意味を確認	A2-2 語彙 のみ確認 語彙リストを四つ折りにして音読コーラス 訳語を隠してコーラス	
14:30 10	P68 ① P166	F 166 ①を順番に読む  「今度はabcの順番じゃありません どれですか みなさん指さしてください。先生がた確認してください」  F 166 ①を順不動で読む	SF 指さして確認  S指さして確認 SF 正しく聞いているか確認  漢字圏の学習者に漢字を提示したほうが効果的だったら SFは白紙に漢字を書いて見せる ことばがわからないようだったら語彙リストで確認する	
14:40 10	P69 何時に 始まるか、 知っていますか	SF1 SF2 SF3 3人でp 166 ②を読む 1回目 (1) どのイベント? 2回目 (2) 何時にどこ?	S コピーのP69 に (1) 左隣のページの a~ d  (2) ア)時間 イ)○をつける を書く	

時間	教具・教材	提示項目	活動	メモ
14:50 10	時間があつたら ルール 省略可	P69 ルール発見を読む書く  時間がない場合は 読むだけ 簡単に流す	普通体(みんな I 22 課) 未修者がいるはずなので飛ばしてもいい むしろ 書くとき「知っています」 話すとき「知ってます」(い が抜ける) を強調するほうが良い 気にする学習者がいた場合は p140 を提示してもいい	
15:00 10	p69	イベントについて話しましょう  普通形にこだわらない	・p68を見ながら S1来客者 S2受付スタッフ S1がS2に質問し答える	
15:10 5	p70 ③ まだ、やっていますか	SF4 SF5 p166. 167 読む	S聞いて ○×を書く	
15:15 10	時間があつたら p69 ルール  受付でききましょう	ルール発見を読む書く  時間がない場合は 読むだけ 簡単に流す	「まだ」 まだやっています 「もう」 もうはじまりました 「まだ」と「もう」を比較すると学習者が混乱するので 「ご飯食べましたか」「まだです」→ まだ食べていません の意味だが長いので省略する。 の方に注目させる ・もう、まだの問題	
15:25 5	4 ビデオ はご遠慮ください	P71 F P167 読む	S ○×を書く SF チェック 聞き取れていなかった場合は 「もう一度お願いします」 S ができている場合、二回目を聞かずに P71 のイラストを見て再度話しても良い	
	Can-do		今日のCan-do達成度を確認する	
	時間があつたら		・皆さんの国ではどんなまつりがありますか	

## ボランティア募集（志願者がいない場合は指名させていただきます）

SF1: 63Pの 参加者 A 参加者 B とボランティアとの会話 の  
参加者 A の役 P166

SF2: 63Pの 参加者 A 参加者 B とボランティアとの会話 の  
参加者 B の役 P166

SF3: 63Pの 参加者 A 参加者 B とボランティアとの会話 の  
ボランティア(ナターリヤさん タイラーさん)の役 P166

SF4: 65Pの 参加者 A とボランティアの会話の  
参加者 A の役 P166 167

SF5: 65Pの 参加者 A とボランティアの会話の  
ボランティア(ナターリヤさん タイラーさん) の役 P166 167

ルール1をじゅうぶんに理解するための前提条件は（じゅうぶん理解しなくても良いのですが）

（普通体）	か
-------	---

 知っていますか  
聞いてみましょう

ここでは辞書形+か の形だけ復習し「やっている」+か を飛ばしてもよい。

みんな I 20 課 既習者か 2月13日(先週 夜)の出席者 以外

「辞書形」未習者がいる場合は特に(居る筈)

冒頭のアイスブレイク会話(おしゃべりをしながら場を和ませ、遅刻者を待つ)で

「趣味は何ですか」等で確認をしたほうが良い。(最初は SF を使うのが無難)

「趣味はテニスです」「テニスをしますか テニスを見ますか」「テニスをします」

「〇〇さんの趣味はテニスをすることです」

→ 辞書形未習者がいた場合は P142 を見せても良い

以下は学習者には説明しない(余計に混乱させるから)が 我々のための備忘録として  
普通形 という動詞の形はない。(が「みんな」「まるごと」双方とも「普通形」を使っているので)

普通体の 非過去 肯定 → 辞書形 普通体の 非過去 否定 → ない形

普通体の 過去 肯定 → た形 普通体の 過去 否定 → 「なかった」の形

## ルール 2

みんな II 29 課 未習者は「～ている」は進行形「歩いている」か 状態「立っている」

だと理解している筈。過去に起こった事象が維持されている「窓が閉まっている」は

自動詞・他動詞の区別とともに みんな II 29 課で導入

今は、うっかり導入すると「はじまっています」は どうして「はじまりません」ではないのか？

「知っていますか」の返事は「知りません」ではなく「知りません」なのに どうして？ 等

学習者の「？」が 出てくるので 触れず割愛するか「会話では こう言います」に留めても OK。